

おおさか AALA

非核・非同盟・平和・友好・連帯

今月の読み物
◇2ページ・会長新年のメッセージ
◇3ページ・新年の抱負◇4ページ・パレスチナ・ガザ訪問◇6ページ・アセアン訪問◇9ページAALAへのレター

〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F
2024年1月1日 No. 611



2023 日本 AALA 国際平和署名提出団の一行

明けましておめでとうございます 2024年1月1日

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

非核・非同盟・北東アジアの共同体をめざす

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会の運動を前進させましょう

本年もよろしくお願いいたします



代表委員

理事長
副理事長

事務局次長
事務局次長
会計

常任理事

理事

監事

安達 克郎

植田 保二

小林 保夫

長谷川道弘

吉瀬 孝子

姫野 浄

上村 得世

浜辺友三郎

小松 靖昌

粕谷 武志

西野 敏恵

堀内 保孝

江野久美子

尾川 理江

下川今朝美

高木 裕司

森川 泰明

安井 倫子

吉本 敦

井上 賢二

小林 優

吉田 信夫

福井満知子

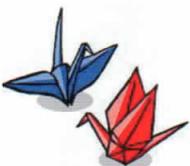
園部 真拓

和田 鈴江

(日本共産党大阪府委員会)
園部 真拓

(民主青年同盟大阪府委員会)
小笠原由美子

和田 鈴江



新年のメッセージ

戦争・核兵器・気候変動、 人類の課題に世界の英知を

大阪AALA理事長 姫野 浄

大阪AALA会員の皆さん今年も世界各地で平和と進歩のためにたたかうAALA諸国の人たちと連帯して私たちもしっかり頑張りたいと思います。

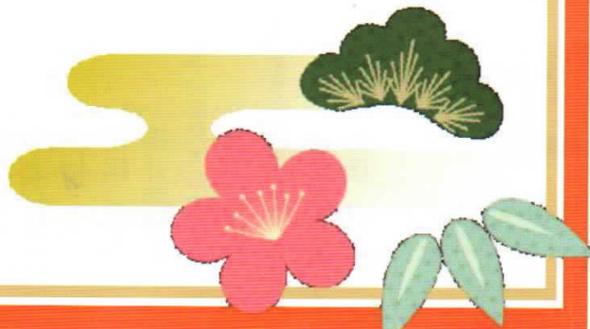
まず爆音の止まらないウクライナとガザについてですが「地上の地獄が戻ってきた」と言われるほどガザは深刻な事態に陥っています。これには世界各地から「戦争やめよ」の声が上がり12月12日の国連総会では人道的「即時停戦」の決議が、前回の「即時休戦」を求める決議から賛成が32カ国も増え、国連加盟国の8割の153カ国の賛成で採択されるという前進を示しています。戦争をやめさせる力は、国際世論と自国民の立ち上がりです。今年の早いうちに2つの戦争をやめさせるときを迎えたいと思います。

そして昨年末、目を見張る二つの出来ごとがありました。ニューヨーク国連本部で開かれていた第2

回核兵器禁止条約締約国会議では、「核抑止論は不拡散や核軍縮にも反する」と痛烈に批判され「核兵器は平和を守るどころか、強制、脅迫、緊張激化の政策手段として使われている」と痛烈に批判されました。中満国連軍縮ASEANの動きについて「すばらしい影響を広げている」と評価しました。オブザーバー参加もしなかった日本政府の態度とは対象的です。

もう一つは12月ドバイで開かれた国連気象変動枠組み条約締約国会議です。グテレス国連事務総長は「時間を区切って化石燃料の全廃を通じてしか1.5度C以内に抑える目標はできない」と言明しました。これに対してブラジル・ルラ大統領は「世界は去年1兆ドルを兵器に使った。なぜそれを飢餓や気象変動に使わないのか」と。コロンビアのペトロ大統領は「人類の最富裕層による炭素にもとづく消費は、他者の死にもとづく消費だ」と痛烈に批判しました。これらに対して日本の岸田首相は、石炭火力発電に固守し「各国の事情に応じて容認していく」と全くだらしない表明でした。

地球上に気象変動や災害で太平洋の島国が家を失い、西アフリカの諸国では生存すらできない緊急事態が広がっているとき、大国はじめ日本などのこの無策な態度は極めて危険であるといわねばなりません。



「新しい戦前」に しないために、憲 法の生きる平和な 豊かな社会を！

吉瀬孝子

皆さん、よいお年をお迎えの事と思います。私たちは年が改まることに明るい希望を求めて、今年こそはと心を新たに新年を迎えます。

ウクライナで、ガザで、その他の紛争地で、日々の戦禍に心を痛めつつ、非核・非同盟・平和・連帯の世界を、と世界中で声を上げ、そして日本を、決して「新しい戦前」にしない、「金だけ・今だけ・自分だけ」でなく、みんなが繋がって憲法の生きる豊かな社会へと、一緒に様々な取り組みのなかで新年を迎えました。

私92回目の新年です。最近自らの動きが鈍くなるのを切なく想いつつ、気持ちだけは相変わらず、AALAのめざす平和と連帯の人権が豊かに発展する未来世界のために、社会進歩のために、夢とロマンの希望を語り続ける年になりたいと思います。

2度の世界大戦を経て、植民地体制は崩壊して世界の構造は大きく変化し、21世紀は平和の世紀へ、G7やG20などの大国の支配ではなく、世界では、平和の国際秩序構築強化へ向けて、国連憲章を中心にして各分野での努力が大きく進みました。女性の世界的復権といわれるようなジェンダー平等、人権保障も大きく前進しました。

核兵器禁止条約の批准国は69カ国に及び、第2回締約国会議がオブザーバー含めて94カ国の参加で大きく成功しました。世界は核の脅しに立ち向かっていきます。核抑止論ではなく、核兵器禁止条約に参加する政府をめざしましょう。

地球沸騰化と言われる昨今、年末のCOP28は先進国のさらなる努力こそがこの地球の危機を救えることを明らかにし、化石燃料の全廃が課題です。石炭火力の廃止、再生可能エネルギーへの転換が急がれます。

軍事同盟でなく平和の地域協力の発展に寄与するAALAは、今こそ視野を広げ大きく飛躍したい出番の年。私たちの運動に確信をもって、何よりも、もっと

もっと沢山のAALAの仲間を迎える年にしたいと願っています。今年もどうぞよろしく願います。



科学の楽しさを 子どもたちに！

はびきの

サイエンスクラブ

吉本敦

子どもたちに夢を！

新年の抱負にはふさわしくないかも知れませんが、正月は何か新たな気持ちで湧くとき、私は子どもたちが、新たな何かを知り感動する姿を見続けていたいと思います。

そんなことを思っ、三〇年来科学の講座を続けています。

地域に根ざした教師をめざして、理科教育の授業研究を始め、新任で勤務していた富

田林市内の小学校校区にある公民館より、「小学生対象の科学の講座をしてもらえないか」と依頼されてから三〇年余りが経過しました。

退職後は、「はびきのサイエンスクラブ」をつくり、地元の羽曳野やお隣の松原市の公民館等で講座を開催してきました。

「科学の楽しさを子どもたちに！」はこのクラブのモットーです。

昨年夏休みに実施した「タマネギの皮を使ったハンカチの草木染」の講座に参加した小学四年生が、その講座で学んだことをもとにまとめた理科の自由研究が、市の代表作品になったという知らせがありました。

今年も、公民館での活動の他、大阪狭山市や富田林市等の地域の有志の方や地域の小学校のPTAの方々の主催講座にも招かれました。

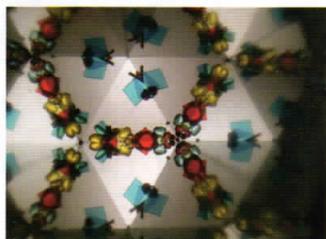
最近、「偏光板を使った万華鏡づくり」が人気で、無色透明のプラスチック片を入れるだけなのに、偏光板を透して見ると、さまざまな色に変化する不思議な万華鏡で、のぞき穴からぞいたとたん「わぁー」と歓声が上がります。「めっちゃ、

きれい」・・・付き添ってこられた保護者の方にも「大人にも勉強になる」と好評だった。

実験や工作の教材内容は、教科書には掲載していないものがほとんどで、用具や材料はできるだけ入手可能な身近なものを扱い、家庭でも再現可能なもので考えている。

また、小学生全学年が対象なので、どの学年の児童にとってもワクワク、ドキドキするような楽しい講座になるように心がけている。子どもたちは目をキラキラ目を輝かせながら参加してくれている。

この講座を通して、子どもたちが自然科学に楽しみながら興味・関心を持ち、やがては自然科学が好きな子どもに育ってほしい。さらには科学的な見方・考え方のできる人になってほしいと願って活動をこれからも続けていきたいと思う。





「天井のない刑務所」パレスチナ・ガザへ

弁護士 梅田 章二

はじめに

2023年10月7日のハマスによるロケット弾攻撃からわずか2カ月、病院、学校、生活インフラ、一般市民の住宅への見境の無い攻撃によって、まさにジェノサイドが進行しています。この投稿が読まれるときには、どのような状況になっているでしょうか。

約10年前の2012年9月、国際民主法律協会（IADL）のガザ訪問、シンポや聞き取りに参加しました。アメリカ、イギリス、フランス、イタリアなど11カ国から16人の法律家が参加、日本からは私が参加しました。現在の事態は、10年前よりも遙かに深刻ですが、実際にガザを訪れた一人として、少しでも考に悩まされたいので、投稿しました。

参加メンバーは、カイロで集結し、3台のワゴンに分乗して、シナイ半島を陸路でガザ地区に向かった。スエズ運河に架かる巨大な橋を渡る時、同乗していたパレスチナ人権センターのラジ・スラーニ弁護士が、「この橋は、日本が造ったアフリカとアジアをつなぐ平和の橋だ」と言ってくれた。当然、私が日本人であることを承知で、そのような言ってくれたのだと思うが、「日本に対する平和で建設的なイメージを大切にしたい」とのメッセージと受け止めた。

カイロから陸路でガザへ



シナイ半島は、要所にチェックポイントがあり、軍や警察が支配している地域である。チェックポイントには、戦車が配備されており、軍事的な緊張状態が残っていた。カイロを出発して約5時間、ガザ地区との国境の町ラファに到着。ここでパレスチナ入国のための手続きをする。Parestinian authority というスタンプがパスポートに押され無事入国である。

イスラエルによる封鎖

10年前の数字であるが、ガザの人口は約160万人（現在は200万人？）、そのうち120万人はパレスチナ難民とその子孫である。人口の約60%が18歳以下である。2007年からの封鎖により、経済が破壊され、ガザへの、また、ガザからの物資の移動の制限によって、持続経済の回復が妨げられている。ガザの失業率は2012年第1四半期で31.5%。若者の失業率は51%である。

ガザとイスラエル間の人と物資の移動はイスラエルによって管理されている。ガザとエジプトは国境を接しているが、自由に交易はできない。しかし、エジプトとガザの間には秘密のトンネルがあり、そこを通して、セメントや鋼材など必要な建設資材が運ばれている。「トンネル経済」と呼ばれている。パレスチナ難民の47%はキャンプ生活をしている。住宅の不足が深刻な問題である。学校の数も不足しており、2部制、3部制で対応している。

漁業は沖合3海里に制限されている。正確には2.5海里でラインが引かれておりそれを超えるとイスラエルによって拘束される。海岸から沖の方向をみると、遠く



難民キャンプのイスラエルによる襲撃の跡



ガザには難民キャンプが8か所ある。人口の7割がいわゆるパレスチナ難民及びその子孫であるが、その人たちがすべてが難民キャンプにいてはならない。難民キャンプにいては主に関心で住宅を確保できない貧困層ということになる。難民キャンプといってもテントを張ったキャンプではなく、一応建物はある。但し、押し並べてブロック造りの平屋で、雨露を凌げる程度のもの。エジプト国境沿いのジョーラという村を訪ね、実際に建物の中に案内してもらった。

ガザの南部には、かつてイスラエルの入植地があったが、すべて撤去された。完全に破壊していったため、広大な空地となっている。イスラエルによって空爆された地域では、ガザ政府が新しく住宅建築を進めているが、建築資材の不足のため、速やかには進んでいない。

ガザ国際空港は、1998年に開港してパレスチナと平和の象徴と呼ばれたが、2001年にイスラエル空軍によって完全に破壊され、ガレキと化していた。

IADLガザ宣言

(2012年9月29日)

IADLは、ガザを訪れ、パレスチナ弁護士会、NGOネットワーク、人権諸団体、女性の権利擁護団体、政治団体などの聞き取り、首相や法務大臣とも面会し、シンポジウムに参加し、それらの結果をふまえて、ガザ宣言を発表した。その要旨は

- ・パレスチナ人に自決、独立、国家の保有する権利を認めること
- ・違法な占領、侵略行為、人道に反する犯罪に対して犯罪不処罰を続けることは許されない。
- ・数千人もいわれる不当に刑務所に収容されている人々(子どもを含む)の即時釈放と拷問の禁止
- ・封鎖によって、住居、保健、教育、労働、水、発展および健康な環境に対する基本的人権の保障。封鎖によって、汚水処理と脱塩施設の欠乏、高い失業率、広範囲にわ

たる栄養不良など生存が直接脅威にさらされている。ジェノサイド(集団殺害)の先触れ。

イスラエルの犯罪についてその責任を国際社会が認めないならば、国際社会も共犯として関与していることになる。イスラエル商品のボイコット、イスラエルへの武器や軍事技術の協力をやめる。など、要は、占領に対する国際法・国際人道法違反に対して、国際社会はもつと厳しい目を向けよということに尽きる。

終わりに

第3次中東戦争で、エジプトはイスラエルとの戦闘で多数の戦死者を出して大敗北しました。しかし、今回のイスラエルの空爆や侵攻で、すでにその数を上回る民間人(特に、女性と子ども)の犠牲者がでています。一刻も早くこのような殺戮行為を止めさせなければなりません。いま、私たちひとりひとりができることは、街頭に出て声をあげる、ことくらいです。しかし、その声が世界中に共鳴すれば、殺戮行為をやめさせる力になるでしょう。

地中海に面するガザの海岸はほんどに美しい。パレスチナに平和を！パレスチナに自由を！

12月8日
世界大戦開戦の日
戦争のない世界へ
赤紙配りに参加
上村得世

毎日、新聞やテレビで放送されるパレスチナ、ガザの報道、そして昨年2月に始まったロシアのウクライナ攻撃には、本当に多くの人たちが、早く終わってほしいと願っています。

ガザでは保育器に入っていないけれども、未熟児が、そのままテーブルに寝かされている映像が流れまわりました。あの子たちはもう助かりません。

ガレキの街で家族を探す人々の姿。胸が締め付けられるような映像の数々です。

しかし、78年前には、同じ光景が日本のあちこちでも見られました。

この大阪でもアメリカに爆撃されて、今私たちがいる難波から大阪駅まで何も遮るものがなく大阪駅のホームがポツンと見えていたのです。

私はまだ3歳でしたが、東京の街が今のガザのように焼きつくされ、食べるものもなかったことを覚えています。

1941年に始めた戦争では、日本の軍隊は、中国や東南アジアの人々を2000万人近くも殺し、多くの街を、今のガザのように焼き尽くしたのでした。

アメリカに広島、長崎に原爆を落とされ、敗戦になりました。日本は再び戦争をしないと憲法にも明記して現在に至りますが、今、自衛隊はアメリカ軍と一緒に戦争をする訓練を続けています。

沖縄だけでなく、石垣島、宮古島、与那国島ではミサ

イル基地も建設されています。

私たち大阪AALAは核兵器廃絶、どの国とも軍事同盟を結ばない、戦争しない、世界の国々や人々と仲よくしよう運動をしています。

毎年とり組んでいる「戦争するなどの国も」の署名は、先日11月にアセアンの議長国インドネシアに届けてきたところです。

ご通行中の皆さんも日本が再び戦争をすることがないように、若者が再び銃を持って他国の人を殺したり、殺されたりしないように行動しましょう。声をあげましょう。

国内情勢にひとこと

金権腐敗政治の一扫を！

自民党派閥の政治資金パーティー収入裏金疑惑が大問題となつていきます。

内閣改造で済むような問題ではありません。

金の力で政治を歪める金権腐敗の温床を作りだしています。

企業・団体献金は、パーティー券を含め全て禁止すべきです。

膨大な政党助成金はそのために作ったのではないのでしょうか。

違反政党は即刻返金を！



ツアー旅程

- 26日 成田空港→ジャカルタ空港→
ジョグジャカルタ 泊り
 - 27日 プランバナン寺院遺跡、インドネ
シアの慰安婦問題
 - 28日 ソノブヨド博物館、ポロブドゥー
ル寺院遺跡 空港→ジャカルタ
 - 29日 ASEAN 事務局 南南協力のため
の非同盟センター
 - 30日 ⇒バンドンへ移動 市内見学、
伝統的郷土芸能干涉
- 12月
- 1日 元前田精邸、モスク見学、買い物
ジャカルタ空港→帰国

「多様性の中の統一」を実感した旅
国際平和署名提出と
インドネシア文化に触れて

インドネシアはかなり大国です。人口では世界4番目でGDPでも成長をつづけており、やがて日本を抜くと予想されています。また、秋に行われたG20サミットでも存在感を示しました。赤道直下の島国であり、火山国で地震国です。3000の民族からなる多民族国家です。さらに世界最大のイスラム教信者の国でもあるのです。そんなインドネシアツアーにワクワクしながら参加してきました。

報告 粕谷 武志

1週間にわたる旅の報告はこの号だけでは記載し切れませんので、今回は全体の日程と一番の目的である国際平和署名の提出をはじめとしたトピックのみ報告します。続きは次号に掲載予定です。



弱地盤のために建築に不安がある。予定通り開催できるかどうかわからない状況だということをご存知か？」と聞いたのですが、「初耳だ」との返事が返って来たのはびっくりしました。

大阪での物件探し協力を打診される

リーさんたちは、意見交換が終わってから館内を案内してくれたのですが、その時に、来年にはASEANとして関西万博に参加するために長期間大阪に滞在するので、事務所のための物件を探してくれないかというようにことを打診され、返事に苦慮してしまいました。

優しい音色のアンクルン

いけば半ば早く終わらないかと退屈になっていました。しかし、アンクルンという楽器を振っているうちに演奏に引きずり込まれ、大きな感動に代わっていったのは驚きました。

アンクルンは竹で作った民族楽器ですが、その楽器を振動させることによって、何とも優しい竹独特の音色が響き渡ります。しかし、ひとつの楽器はドレミファの音の中のひとつの音しか出ません。観客全員にそれぞれの音階のアンクルンを配り、みんなで演奏するのです。

指揮者が「ミ」の音を示したら、それを持っている人が一斉に揺らすのです。巧みな指揮者のもとで、何回かの練習の後に全員が曲を演奏できたとき、館内は大きな感動に代わっていました。

多様性の中の統一を実感

まさに「多様性の中の統一」の体現であると思えました。インドネシアの文化の奥

ひとつに丁寧に答えてくれました。質問する私たちは民間団体でもASEANとしての見解を語るとなれば、いろいろな配慮が必要であるだろうとのことは想像できました。

取りようによっては、建前優先の形式的な回答にも聞こえましたが、言葉を選びながらも、真摯に答えてくれている誠意は感じ取れました。特に、西野さんの「ミヤンマー情勢が改善さ

れていないのが心配です。なりのリーさんからの連絡は、

ウハウもない私がこの話を直接引き受けることには無理がありません。ASEAN事務局

国際平和署名を渡し、固い握手

ASEAN事務局で国際署名を渡したのは、インドネシア滞在4日目の11月29日でした。私たち一行のバスは立派なASEAN本部の建物に到着し、広いロビーに入りました。ASEANの旗の前で記念写真を撮ったりした後、部屋に案内され、えんじ色のパティックシャツを着たLee Yoonng Yoonng(リー・ヨンヨン)さんが私たちを迎え入れてくれました。

フレンドリーな雰囲気の人で、私は俳優の佐藤二郎のイメージと重ねてしまいました。リーさんはASEAN事務局のチームディレクターの一人で、いわば涉外担当責任者ともいう肩書になるのかなと後から名刺を見て思ったものです。日本から持って行った1万筆以上の署名の束を積み上げて、ツアアの団長でもある吉田万三さんが口上を述べて渡しました。そして、

リーさんからの挨拶のあと、にこやかに握手を交わす様子は平和のための国際連帯を感じ、元気づけられるようでとても力強く感じられました。

有意義な意見交換を行う

署名を渡した後には、通訳を介しての意見交換の場となり、7名から質問や意見・感想などが出されました。その多くは、武力衝突や戦争が連続して起こっている今の世界情勢を憂えたNの国々にどのように映っているかに集中しました。リーさんは、それぞれ一つ

との意見には、「基本はミャンマー国民が決めることである」としながらも「何もしてないわけではない。表に出ない静かな外交で努力している」との回答も寄せてくれました。

大阪万博の問題について発言

私は、リーディレクターの大阪を訪問したとの話に呼応して、思い切って聞いてみました。

「大阪万博は事業経費が予定の2倍にもなる見込みで、批判が噴出している。大阪府民も日本国民も開催に半数以上が反対であり、しかもゴミ埋立地という軟

いったん鈴木克比古先生に窓口になってもらうということにしたのでした。その後、この機関紙の原稿を作っている12月中旬の段階ではまだ連絡はないとのこと。



ASEAN本部で

伝統的郷土芸能に感動

ASEAN事務局に署名を渡した翌日の30日は、インドネシアの伝統的郷土芸能を鑑賞しました。民族音楽に合わせて芝居と操り人形をやっているのですが、インドネシア語での芝居なので大体の意味は理解できても観客が笑っても着いて

深さに脱帽した一瞬でした。また、この後には、この少年・少女の劇団員の誘いに応じて多くの観客が舞台の広場に降りて、みんなで音楽に合わせて手を取り合っの踊りになりました。私も誘われてみんなと踊ることにになりました。手をつなぎ、手を叩き、笑顔を見ながら踊ることで、とてもハッピーな国際交流を体験させてもらいました。

インドネシア民族音楽団の抱擁力は感動ものです。



ASEAN事務局に国際署名提出



日本軍に慰安婦にされた
インドネシア人 スキニさんを囲んで

穴の開いた屋根の家

望んでいるのは謝罪

インドネシア2日目の午後は、元「従軍慰安婦」スキニさん宅を訪問しました。今回のツアーの予定にはありましたが、スキニさんは高齢ゆえに体調が悪ければ会えないかもしれないと聞かされておき、私は十分に心の準備ができてないまま会うことになりました。

行った先はスキニさんの住居で、古い家の中の土間の部分は結構広く、私たち30人以上が座れる椅子も用意されていきました。座って上を見ると、屋根のところどころから外の光が漏れていて、雨漏りすることだろうと気になりました。もちろん冷房はないので結構蒸し暑い中で、同行してくれたインドネシア大学の水野広祐先生を通してスキニさんの話を聞かせてもらいました。

現在96歳のスキニさんは、12才の時に日本軍に捕まり、以来終戦までインドネシア国内で日本軍の相手をさせられていたといいます。何度聞いても辛い体験です。語る人は嫌でも思いつくことだろうと息苦しくなるほどです。

彼女は「私は女性基金は受けとっていない。大それたことは望んでいない。直接の補償と謝罪を望んでいるだけです」としっかりと声と発音で語っていました。

今は、優しいお隣さんに見守られながら仲良く暮らしているスキニさん。よくぞここまで生きてこられたねと心の中で語りかけていました。

雨漏りカンパを渡す

帰りのバスの中で、訪問団の一人から「せめて柱の一本分でもカンパしよう」との発案があり、後刻夕食会の席でもカンパを募りました。私たちが帰るまでには10万円を超えるカンパが集まり、この度の行動をセツティングしてくれた女性ジャーナリストのリアさんに渡すことができました。そしてリアさんからスキニさんの口座に振り込むと説明がありました。

このカンパで「雨漏りがしない家に住みたい」という希望に少しでも応えることができました。彼女たちの戦争はまだ終わっていないし、私たちの戦争責任も果たされていないと改めて思っています。

西野 敏恵



スキニさん、水野先生、マリオさん



カンパをリアさんに預けました



日本から持って行ったプレゼントを渡す

スキニさんを囲んで



AALAへの レター 弁護士 渡辺和恵



情報の大切さを思う

AALA機関紙による世界に目を開かせる諸情報の提供は楽しみの一つです。引き続きよろしくお願い致します。また「パレスチナとイスラエルの戦争」の一件から、幾つかのことをお尋ねしたいと思つて筆を執りました。

過日の11月26日、毎日放送・サンデーモーニング田中優子さんの発言で「自分達が体験したナチスによるユダヤ人への残虐行為をなぜ自ら繰り返すのでしょうか」と批判されました。番組の時間制約による言葉足らずになつてしまったコメントであつたでしょうが、イスラエルへの開口一番のこの批判が、受け取る人によっては「ユダヤ人全般への不信感や憎しみ」に置き換わつてしまふ恐れも感じ、正確で分かり易い情報発信の大切さを思いました。

イスラエル人とパレスチナ人の融和は

私は今、2022年に買った

「イスラエル兵役拒否者からの手紙」(NHK出版。ペレソ・キドロン編著・田中好子訳)を読んでいます。唐突に始まったと思えるこの戦争をきっかけに、当時関心があつたものの不勉強で、結局積んで置くだけの書籍を読み始めたのでした。この本には「自分は加害者にならない」との信念のもと、若者だけでなく妻子を持つ男性までもが兵役拒否(3年間の兵役及びその後の毎年3週間の予備役も含む)により投獄されている人達の手記が綴られています。20年以上前の本ですが、その後も抵抗組織「イエジエ・グブウル」が存在している、今も兵役拒否をしている人たちがいるような気がします。ネット記事「人民新聞」では、兵役拒否の自分たちの姿を知らせたいとイスラエルの若者の声もありました。ちなみに私の女性運動の中で、パレスチナの女性とイスラエルの女性

死んだと報道もさることながら、この少年が今の戦争で生き永らえたとしても、強い憎しみを抱いたままの人生を送っていくことを思うと「即時停戦を」と叫ばずにおれません。

9条こそ世界の宝

パレスチナにおける戦争もウクライナにおける戦争からも、武力対立による殺戮と国土破壊の悲劇を繰り返している今の「戦争の現実」を見れば、日本国憲法9条の「戦争の放棄」とそのための「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」との条項は、歴史の所産であり、人間の叡智の集結であり、「9条こそ世界の宝」の声を強めなければならぬ運動だと思つています。お尋ねしたい一つはAALAとしてこの運動と繋がります。情報がありましたら教えて下さい。

生き延びたユダヤ人の思い

昨日帰宅するとAALAのニュース(12月号)が届いていて、西谷修先生(東京外大名誉教授)の「パレスチナとイスラエルについての論説記事を読むことができた」という。イスラエルは「200万人のパレスチナ難民をシナイ半島のキャンプに強制移住させることも検討中」とのこと初めて知りました。

そして今日(12月2日)朝日新聞(オピニオン&フォーラム)で収容所から生き残つたダニエル・ハノツホさん(91才)ご存命であり、イスラエルに住むダニエルさんは「こんな右翼ファシスト的な政府が出来るとは思いもよらなかった」と言い、自国政府を公然と強く批判している人だと紹介されてました。

パレスチナのハマスによるイスラエルへの攻撃に、過剰で非人道的な報復攻撃を続けるイスラエルにも、勇気を持つて反対を続けるユダヤ人が多くいることの情報も大切です。過去も現在も、不都合な歴史と事実が意図的に隠され、誤った断片の歴史と不十分な事実認識によって人々が分断されている世界では、現在起こっている世界の歴史的事態には立ち向かえませぬ。二つ目にお尋ねしたいのは、このような世界情勢の中でAALAこそ出番のときだと思つたのですが如何でしょうか。ますます色んな情報が欲しいです。

AALA事務局から 渡辺和恵さんへの「返事」

新年明けましておめでとございます。昨年末、AALAにとって貴重なご意見や感想と共に、なにより大きな励みとなるお便りを寄せていただき本当にありがとうございます。

はじめに

お便りの中で指摘されたテレビ番組でのイスラエル批判のコメントが、言葉を尽くさないかぎり「ユダヤ人全体への不信感や憎しみとなる」とのご指摘は大変重要なご指摘だと思つています。イスラエル軍によるガザへの非人道的で苛烈な「報復攻撃」を批判する世界の声に対して、 Netanyahu政権はそれらを「反ユダヤ主義」と反駁し、ガザへの非人道的殺戮を正当化しようとしているのです。

しかしイスラエル国民の少なくとも勇気あるユダヤの人たちだけでなく、海外に居住するユダヤ人グループ、特にその多くが住むニューヨークでは、イスラエルに即時停戦を求め、イスラエルに軍事支援を続けるアメリカ政府への批判と抗議の声も拡がっています。

世界各地からのイスラエルと米国への批判の拡がりと同時に、米国内では与党民主党支持であつた多くの若者たちによる米国のイスラエルへの軍事支援に対するの厳しい批判の高まりの中で、バイデン大統領への支持率低下が急速に進んでいる。るとも伝えられています。

戦争するための軍備と同盟前置きが長くなりましたが、イスラエルによるガザ

への苛烈な攻撃も、ロシアによるウクライナにおける戦争も、始まってしまえば死と恐怖と数知れぬ悲しみと破壊が進み、抜け出せない泥沼と化しています。軍事力は結局「平和の構築」とは無縁の、そればかりか近隣国に脅威を生み、戦争を誘発してきま

した。それは世界最強の「軍事同盟」である米国を盟主とするNATOがその拡大強化の動きだけで、「抑止力」の發揮どころか、結局ロシアによるウクライナ侵略を誘引し、今やウクライナの国土破壊とウクライナ国民の犠牲を介して、ウクライナ軍によるNATOとロシア軍の戦争とも言える様相をも見せています。

また米国はイスラエルを軍事支援しながらアラブ諸国の分断と覇権をめざし、巨大軍需企業は、それによる儲けも、ひたすら積み上げていくようにです。

新しい世界秩序

「もし侵略やテロ攻撃されたら！」との問いに、「攻撃される前に、核保有を含む軍備と軍事同盟を強化する！」と答えるのが軍事大国・米国が求める「世界秩序」のようです。

しかし今この「世界秩序」に対して、それに対峙し、将来それを凌駕するであろう「新しい世界秩序」が生まれつつあります。

遥か彼方の「理想」の話ではなく、もはや当然の「新しい世界秩序」として「人間の叡智」が答える現実世界を生みだしつつあります。

一つは「核兵器禁止条約」(2021年1月21日に発効)です。アジア、アフリカ、ラテンアメリカの「非核・非同盟」のいわゆる「グローバルサウス」と呼ばれる多くの発展途上国が、核廃絶への「新しい世界秩序」を打ち立てたとも言えます。

平和の枠組みと9条

さらに一つは「軍事同盟」ではない「平和の枠組みの拡大強化」の動きです。すでに世界にはアフリカ連合(AU)、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)など、南極条約を含めれば7つの非核の「平和の枠組み」がある中で、とりわけ「東南アジア諸国連合(ASEAN)」の10カ国+1は、域内の国の大きな違いを越えて、国と国との紛争や戦争の種を徹底して摘み取るために、年間千回に及ぶ「話し合い」となる「平和外交」を重ねてきています。そして今やASEANの域外にも広く呼びかける「重層的な対話の枠組み」に世界の軍事大国も無視できない動きになって

いるのです。
「非核・非同盟」諸国に住む人々は、世界の人口の8割を超え、世界の圧倒的多数派であり、本来世界の主流と成りえる力になっていきます。ASEANの「平和構築への先進性」を励まし支えることは、「世界の宝」として、「人類の叡智」が結実した法規、日本国憲法9条を持つ日本こそ、その役割が求められていると考えています。
世界に「平和の枠組み」を広げることこそが「新しい世界秩序」となり、世界の主流となるべき時代が近づいて来ているようです。その意味でも大軍拡により「9条」をなきものにしようとする岸田政権を決して許すことはできません。

分断の世界の中で AALAの出演

「どの国も戦争するな！」を世界に呼び掛けながら、「東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に」との国際署名を毎年取組み、ASEAN議長国に届けています。「世界を知って日本を変えよう！」をスローガンに運動を進めてきたAALAのまさに出番です。AALAへの励ましのお便り、本当にありがとうございます。

事務局長・小松靖昌



12月10日AALAカフェの報告

「ミャンマーのたたかいに私達はどうか支援を続けるか」

講師:原田正美さんの学習会に

参加して 藤田 知子



お話をされる原田先生

今回のテーマ「ミャンマーのたたかい」を聞いてまず思い浮かべたのはアウンサンスーチーさんのこと。昔、「ビルマからの手紙」を読みました。束ねた髪に小さい花束を飾って微笑む姿からは心の奥に秘めた本当の愛国心が、軍事クーデターで拘束され今は軟禁状態。

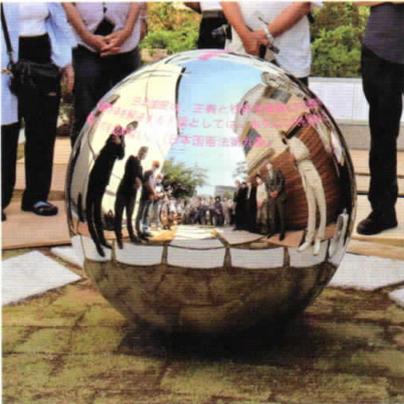
27年の刑期という今は78才。心休まる日を送つてほしい。「ミャンマーに平和と民主主義を」と切に願います。

講演の中で「今、民主化運動をしている人が言うには、軍政はミャンマーの多くの地域を支配できていない。軍政への不満が強まり脱走兵が増えている」勝利に必要なこととしてD・I・P。Dは兵士の士気低下、軍からの離脱。Iは国際的な圧力。Pは国民の支持と協力。これがあれば闘いに勝利する」と語っています。





9条生かした平和外交！ 大軍拡路線ストップ！

<p>〒556-0021 大阪府歯科保険医協会 理事長 小澤 力 大阪市浪速区幸町一、二、三三 ☎ 〇六、六五六八、七七三二 FAX 〇六、六五六八、〇五六四</p>	<p>〒556-0021 大阪府保険医協会 理事長 宇都宮 健弘 大阪市浪速区幸町一、二、三三 ☎ 〇六、六五六八、七七三二 FAX 〇六、六五六八、二三八九</p>	<p>〒530-0034 全大阪労働組合総連合 (大阪労連) 議長 菅 義人 大阪市北区錦町二番二号 国労大阪会館一階 ☎ 〇六、六三三三、六四二二 FAX 〇六、六三三三、六四二〇</p>	<p>〒536-0014 農民組合大阪府連合会 会長 田中 豊 大阪市城東区鳴野西二、五、二二二 大阪農民会館一階 ☎ 〇六、六九六五、二九〇〇</p>	<p>〒530-0012 日本中国友好協会大阪府連合会 会長 渡辺 武 理事長 松尾 豊 大阪市北区芝田二、三、一九 東洋ビル本館207号室 ☎ 〇六、六三三二、八一三二</p>
<p>〒541-0054 大阪商工団体連合会 会長 田中 武久 大阪市中央区玉造 二、二八、四 ☎ 〇六、六七六八、三〇六五</p>	<p>〒541-0054 大阪民主医療機関連合会 会長 大島 民旗 大阪市中央区南本町二、一、八 創建本町ビル二階 ☎ 〇六、六二六八、三九七〇 FAX 〇六、六二六八、三九七七</p>	<p>〒543-0021 大阪府立高等学校教職員組合 執行委員長 志摩 毅 大阪市天王寺区東高津町七、一一 大阪府教育会館七〇七号 ☎ 〇六、六七六八、二二〇六</p>	<p>〒543-0021 大阪教職員組合 中央執行委員長 北川美千代 大阪市天王寺区東高津町七、一一 大阪府教育会館七〇六号 ☎ 〇六、六七六八、二二三〇</p>	<p>〒543-0021 大阪母親大会連絡会 委員長 松永 律 大阪市天王寺区東高津町七、一一 大阪府教育会館七〇三号 ☎ 〇六、六七六八、八九四六 FAX 〇六、六七六八、八九四七</p>
<p>〒596-0053 弁護士法人 阪南合同法律事務所 岸和田市沼町一三番二一 ☎ 〇七二、四三八、七七三四 FAX 〇七二、四三八、三六四四</p>	<p>〒534-0025 京橋共同法律事務所 大阪市都島区片町 二、二一、四八 J E I 京橋ビル十一階 ☎ 〇六、六三五六、一五九一 FAX 〇六、六三五一、五四二九</p>	<p>〒556-0011 大阪中央法律事務所 大阪市中央区石町一、一、七 永田ビル四階 ☎ 〇六、六九四二、七八六〇(代表) FAX 〇六、六九四二、七八六五</p>	<p>〒540-0033 きづがわ共同法律事務所 大阪市浪速区難波中一、一〇、四 南海SK難波ビル五階 ☎ 〇六、六六三三、七六二二 FAX 〇六、六六三三、〇四九四 ホームページあります</p>	<p>〒530-0054 民主法律協会 会長 豊川 義明 大阪市北区南森町一丁目二、二五 南森町iSビル七階 ☎ 〇六、六三六一、八六二四 FAX 〇六、六三六一、二二四五</p>
<p>旅のことなら JU 観光 〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-18-27 天神ビル4階 TEL: 06-6135-7111 FAX: 06-6135-7311 https://www.ju-kanko.com</p>	<p>球状の「九条の碑」 東京都足立区柳原</p> 	<p>大阪自治労連 吹田市職員労働組合 執行委員長 寺坂 美香 吹田市泉町一、三、四〇 市役所内 ☎ 〇六、六三八六、四四二八</p>	<p>なにわぐりーん法律事務所 弁護士 渡辺 和恵 大阪市浪速区大國町一、八、十六 ☎ 〇六、六六四一、六〇六〇 FAX 〇六、六六四一、六〇六一</p>	

大阪 AALA
新春のつどい
 1月27日(土) 13時30分
 国労大阪会館:会費 1000 円
インドネシア訪問の報告と懇談

…大阪 AALA 当面の日程と取組み…

- 1月 9日(火) 第6回 常任理事会 18:00~AALA 事務所
- 1月27日(土)大阪 AALA 新春のつどい 13:30~国労大阪会館
- 2月 3日(土)大阪 AALA カフェ 13:30~AALA 事務所
- 2月13日(火) 第7回 常任理事会 18:00~AALA 事務所
- その他 3月 16日(土)~17日(日) 春の南紀1泊2日
 大阪 AALA 「平和学習ツアー」を計画中

文芸欄

川柳

大阪市旭区 近藤 正

イスラエルガザ攻撃をまたはじめ
 万博は中止をすれば傷浅い
 ラッシュでも化粧している人がいる

大阪府四條畷市 西川 ひろし

イスラエル銃でものごと解決か
 岸田首相九条もって中東へ
 言葉消え砲火が出れば人を消す

2月17日(土) AALA 近畿ブロック「講演と学習のつどい」 14:00~キャンパスプラザ京都

◇講演「東アジアを戦争のない世界に」
 講師 田中靖宏さん(オンラインにて)

◇インドネシア訪問の報告
 (大阪 AALA 西野敏恵さん)

AALAカフェご案内

第37回「おおさか AALA カフェ」
 2月 3日(土) 13:30~
 講師・渡辺和恵弁護士
仮テーマ「女性と子どもの人権問題」



大阪 AALA への 入会について

会費 月 800 円(年 9,600 円)
 (25 才以下は年 3,000 円)
 入会金 500 円

*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円ずつご入金下さい。
 *会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪 AALA と日本 AALA の機関紙を郵送いたします

「英語で世界を読む会」へのお誘い

12月には福島原発事故13年にして被災地の状況、汚染水放出の問題などを取り上げた記事を読みました。以下は、参加者の感想です。
 「トモダチ作戦のドナルド・レーガン号の乗組員が東電に訴訟を起こしていることや、双葉町の町長の証言など、驚愕しました。本当のところを伝えられないメディアの問題は深刻ですね。勉強会に参加させてもらって世界が広がります。」

1月には、アニメ作家宮崎駿氏の最新作を取り上げた記事を読む予定です。

日時 1月23日(火)14:00~

参加希望の方 <<mailto:pichan5@hotmail.com>>
 に連絡下さればテキストをお送りします。

LET'S 脳トレ!!



発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)

Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee

〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F

TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361

E-mail: osakaaala@nifty.com HP: <http://osakaaala.la.coocan.jp/>

機関紙・宣伝委員会